

## 調査目的

- へき地・離島での輸血使用状況（輸血管理体制と使用状況の推移）の調査結果とその対策について、及び、小規模医療機関での廃棄減少と適正使用の推進のため、小規模医療機関での輸血管理体制・使用状況についての調査結果と対策について、検討する。

## 調査方法・対象

日本輸血・細胞治療学会への委託により実施

## 調査内容

### 【1】基本的事項

#### 1) 医療機関の概要について

1. 病床数について（一般病床数、療養病床、精神病床、感染症病床、結核病床など）
2. 医療機関の種類について（地域医療支援病院、特定機能病院、臨床研究中核病院、へき地医療拠点病院など）
3. 診療科について
4. 手術件数等について（全身麻酔件数、帝王切開件数、心臓・大血管件数、移植件数（造血幹細胞移植、臓器移植別）、治療的血漿交換療法件数など）
5. 救急医療の体制について（救急指定病院、救命救急センター、高度救命救急センターなど）
6. 血液製剤の管理システムの有無について
7. その他、医療機関の概要に関することについて

#### 2) 血液製剤の納入状況

1. 輸血用血液製剤の年間納入本数について
2. 輸血用血液製剤の廃棄本数
3. 血漿分画製剤（免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤）の年間入手本数について
4. 血漿分画製剤の廃棄本数
5. その他、血液製剤の納入状況に関することについて

### 【2】輸血療法の体制について

#### 1) 血液製剤の管理について

1. 輸血部門の設置について
2. 輸血責任医師（専任・兼任）の有無について
3. 輸血専従の臨床（又は衛生）検査技師の配置状況（常勤、24時間体制等）について
4. 輸血療法委員会の設置の有無について
5. 輸血療法委員会の令和4年度の開催回数及び委員の出席率について
6. その他、血液製剤の管理に関することについて

### 過去の調査結果の活用

- ・血液製剤の平均的使用量について（平成16年12月27日薬食発第1227001号）
- ・血液製剤の使用指針（平成31年3月一部改正）
- ・輸血療法の実施に関する指針（令和2年3月一部改正）

（参考）安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の基本方針

国は、医療機関における血液製剤の使用状況について定期的に調査し、適正使用の推進に必要な方策を講ずること。

# 令和5年度血液製剤使用実態調査事業の概要②

## 調査内容の続き

### 2) 輸血関連の検査体制について

1. ABO血液型検査の実施状況及び検査内容について
2. 緊急時の異型適合血の使用状況と輸血検査体制について
3. RhD抗原検査の実施状況（院内又は外部機関）及び検査内容について
4. 不規則抗体スクリーニング検査の実施状況（院内又は外部機関）及び検査内容について
5. 輸血前検体保管の状況について
6. 輸血後検体保管の状況について
7. 輸血前感染症検査の実施状況について
8. 輸血後感染症検査の実施状況について
9. 血液型ダブルチェック（二回採血による確認）の実施状況
10. その他、輸血関連の検査態勢に関することについて

### 3) 輸血療法の安全管理について

1. 輸血用製剤の使用について業務手順書の整備状況について

#### 【3】使用実態について

### 1) 輸血用血液製剤の使用実績について

1. 年間の輸血用血液製剤の投与患者数（のべ人数、実人数）
2. 年間の輸血用血液製剤の投与本数（製剤別、診療科別、投与場所別）
3. 年間の放射線未照射輸血用血液製剤（日赤血・院内血）の使用の有無、使用量及び使用理由について
4. 外来輸血について
5. 病院外（介護施設・在宅）輸血について
6. その他、輸血用血液製剤の使用実績に関することについて

### 2) 免疫グロブリン製剤の使用実績について

1. 年間の免疫グロブリン製剤の投与患者数（のべ人数、実人数）
2. 年間の免疫グロブリン製剤の投与本数（製剤別（静注・皮下注等）、診療科別、投与場所別）
3. その他、使用病名等、免疫グロブリン製剤の使用実績に関することについて

### 3) 輸血用血液製剤・免疫グロブリン製剤以外の製剤の使用実態について

1. 自己血輸血について
2. 院内調製の製剤について
3. その他、輸血用血液製剤・免疫グロブリン製剤以外の製剤の使用実績に関することについて